

G20 研究・イノベーション大臣会合 マナウス声明

2024年9月19日

我々、G20 メンバー及び招待国の研究・イノベーション大臣及び同等の者は、「公正で持続可能な開発のためのオープンイノベーション」というテーマの下、2024年9月19日にブラジルのマナウスで会合した。我々が直面する主要な地球規模の課題に対処し、科学技術・イノベーション(STI)へのアクセス及び生産における世界的な不平等及び非対称性を削減し、国連の持続可能な開発のための2030アジェンダ及びその持続可能な開発目標(SDGs)の目的を達成するための手段としての研究・イノベーションにおける国際協力の重要性に関する議論を進めるためである。

我々は、オープンイノベーションが、相互に合意した条件下における組織の境界を越えたパートナーシップ、協力及び自発的な知識の流れに基づく分散型イノベーションプロセスであることを認識する。オープンイノベーションは、イノベーションエコシステムの中にいる研究者やその他の人々のために、内部と外部の両方の資源を活用して、アイデアや知識の潜在的な経済的価値を解き放つ。この協働プロセスは、自発的なパートナーシップと知的財産の尊重に基づく強力なイノベーションエコシステムとイノベーター主導のアプローチの重要性を強調している。これには、多様な文化と人権の尊重、国家安全保障の確保並びに学問の自由、研究倫理とインテグリティ及びプライバシーと個人データに関する原則と規則も含まれる。

ブラジルがG20議長国を務める間に主催した研究・イノベーション作業部会(RIWG)の会合は、政府、国際機関及び専門家に対し、研究・イノベーションにおける開かれた、公正で、多様で、相互に有益な国際協力の重要性について議論するためのプラットフォームを提供した。RIWGの議論と活動は、(1)科学技術・イノベーションにおける国際協力を強化するためのオープンイノベーション、(2)公正で包摂的なエネルギー移行とより循環的で持続可能なバイオエコノミーを含む、排出量の削減と温室効果ガス排出ネット・ゼロ/カーボンニュートラルの達成に向けたオープンイノベーション、(3)グローバル・ヘルスを促進するためのオープンイノベーション、(4)持続可能なアマゾンとその他の森林のための研究とオープンイノベーション、(5)科学技術・イノベーションにおける多様性、公平性、包摂性、アクセス可能性、という5つの優先課題を通じて行われた。

我々は、STIへのアクセス及び生産における非対称性と不平等が、全ての国、特に開発途上国において、グリーンで、社会的に公正で、持続可能な開発を妨げうることを認識する。この意味で、我々は、これらのギャップを埋め、研究・イノベーションの機会への公平なアクセスを促進し、持続可能な開発のための2030アジェンダ及びSDGsの達成を支援するため、科学技術・イノベーションにおける国際協力を強化することにコミットする。

この協力は、オープンイノベーション、オープンサイエンス、必要に応じた研究インフラ、自発的な技術移転と相互に合意した条件での能力の共同開発、世界中の研究者、科学者の行き来及び資源のやりとり、開発途上国への科学技術支援、強化された科学コミュニケーションなどのツールを利用することによって促進することができる。この文脈において、我々は、循環経済政策及び資源効率的アプローチが持続可能な開発を達成する上で果たすことができる重要な役割を認識する。

我々は、オープンイノベーションは、気候変動、地球温暖化、異常気象の増加、生物多様性の損失、土壌の劣化、海洋生態系の劣化、廃棄物、汚染及びパンデミックのような、貧困及び不平等の拡大、経済成長の抑制、飢餓、食料不安、災害リスク及び移住の一因となる、我々が直面する現代の世界的な課題や危機に連帯して対処するために、科学技術・イノベーションにおける国家の能力を活用し、従来のビジネスモデルを変化させ、変革的な成果を達成する可能性を有することを指摘する。

我々は、2022年及び2023年に、我々の首脳が「我々は、我々の主導的な役割に留意し、国連気候変動枠組条約（UNFCCC）の目的を追求するに当たり、公平並びに各国の異なる事情に照らした共通に有しているが差異のある責任及び各国の能力に関する原則を反映した形で、パリ協定及びその気温目標の完全かつ効果的な実施を強化することによって気候変動に取り組むという我々の確固たるコミットメントを再確認する。」と確認したことを改めて表明する。気候危機及び関連する課題に取り組むため、我々は、必要に応じて、国際協力、公正なエネルギー移行、資源効率、循環経済の強化及び新たに出現しつつある様々な持続可能な技術の開発及び利用を通じたものを含め、排出量の削減及び温室効果ガス排出量ネット・ゼロ/カーボンニュートラルの達成に向けて共に行動すべきである。我々は、特にエネルギー分野における環境上適正な技術に関連する知識、技術、政策及びベスト・プラクティスを、相互に合意した条件で、開発途上国に対し自発的に共有することを奨励する。

さらに、研究・イノベーションは、生物多様性の損失を食い止め、反転させ、大気、水、土壌の汚染と闘う上で重要な役割を果たすべきである。我々は、IPCC、IPBES、IRP 及び来るべき化学物質、廃棄物及び汚染に関する科学政策パネルのような科学政策プラットフォームの重要性を強調する。

COVID-19 パンデミックは我々の社会に影響を与え、国の保健システムを圧迫し、世界中で何百万人もの命を失わせた。このパンデミックはまた、ワクチン、診断、治療、その他の医学的対策へのアクセス、開発、生産、使用における国家間および国内の不平等が、各国の保健上の緊急事態や災害への対応にどのように影響するかを示した。我々は、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成に向けて、ワクチン、診断、治療及びその他の保健技術の

研究、開発、規制、生産、提供及びイノベーションの発展を通じて、また、科学技術・イノベーションにおける国際協力を通じて、全ての国、特に開発途上国が将来の保健上の緊急事態を予防し、これに備えるために必要な能力及び環境を有するよう、それらの国と協力するためにあらゆる努力を払うべきである。

研究とイノベーションの観点から、我々は、「地方及び地域生産とイノベーションのためのアライアンス」に関する G20 保健作業部会における進行中の議論に留意し、この取組における G20 保健作業部会の緊密な協力を感謝する。

我々は、気候変動、生物多様性の損失及び森林のような重要な生態系の損失と劣化、汚染を含む世界的な危機及び関連する課題と闘い、一般的な意味での持続可能な開発並びに先住民及び地域社会の暮らしを支援するために、アマゾンとその他の森林並びに世界的な海洋と沿岸環境における研究・イノベーションを促進することの重要性を認識する。

我々は、他の政策分野の中でも、生物多様性、持続可能で循環的なバイオエコノミー、健康、海洋、気象に対処するための研究・イノベーション及び公共政策を強化するために、オープンサイエンス・プラットフォーム及び FAIR (Findable = 見つけられる、Accessible = アクセスできる、Interoperable = 相互運用できる、Reusable = 再利用できる) データ原則、並びに CARE (Collective Benefit = 集団の利益、Authority to Control = 管理の権限、Responsibility = 責任、Ethics = 倫理) のような倫理的データ・ガバナンスのための原則及び枠組みを通じて、生物の多様性のデータ及び情報の入手可能性並びに目録作成を向上させることを推奨する。

我々は、熱帯林の生物多様性の保全と回復のためのものを含め、科学技術プロジェクトの相乗効果を活用し、その効果を最大化するための研究・イノベーションに対する資金援助及び助成金の可能性を確認する。我々は、9 月 17、18 日にマナウスで開催されたアマゾン及び熱帯林の科学セミナーに集まった専門家及び学者の貢献に感謝する。

多様性、公平性、包摂性、アクセス可能性、及び持続可能性は、STI の取組の中核となるべきであり、特に生物多様性の保全、回復と持続可能な利用、持続可能な開発、気候対策において、経済、社会、環境、ジェンダー及び人種/民族的側面を含むべきであり、また脆弱で十分なサービスを受けていないグループ、先住民、地域社会の包摂を含むべきである。我々は、これらの問題に対処するための行動及び措置に関する共通の理解を見出すとともに、統計データを収集し、政策を監視するためのオープンサイエンス・プラットフォームを含むプラットフォームを通じて、適切なデータ、情報及び指標を共有することを奨励する。この意味で、我々は、オープンサイエンスを実施するための実践と行動を歓迎する。

研究者の流動性は、協力関係の強化を通じてイノベーションと経済成長を促進することができる。この意味で、我々は、人材の移動を促進する方法についての G20 メンバー国とゲスト国との間の議論を奨励する。

上記の問題に取り組むための対応として、我々は、以下の RIWG の成果物を支持する。

1. G20 RIWG の付託事項書
2. オープンイノベーション協力を促進するための G20 戦略
3. 科学技術・イノベーションにおける多様性、公平性、包摂性及びアクセス可能性に関する G20 勧告

また、次の成果物を歓迎する。

1. アマゾンと熱帯林における研究・イノベーションのための G20 とベルmontフォーラムのパートナーシップ
2. 種のカタログ化と開かれた生物多様性データベースの拡大のための G20-GBIF 促進プロセス
3. アマゾンと熱帯林における研究・イノベーションの課題と機会に関する G20 国際セミナー

また、次の成果物にも留意する。

1. 環境保護、排出量の削減及び温室効果ガス排出量ネット・ゼロ/カーボンニュートラルの達成を目的とした、相互に合意した条件での自発的な共同開発、知識の移転、普及及び拡散の対象となるクリーンエネルギー技術の G20 概要
2. 公正なエネルギー移行のためのクリーンエネルギーイノベーション国家政策の G20 抄録
3. G20 保健ワーキンググループで議論されている「地域・地域生産・イノベーションのためのアライアンス」に向けての、RIWG による研究・イノベーションの観点からの提言

上記の成果物は、マナウスパッケージと呼ばれる。

我々は、G20 RIWG ブラジル議長国のナレッジ・パートナーである国連貿易開発機関(UNCTAD)、国連教育科学文化機関(UNESCO)、国際エネルギー機関(IEA)、アマゾン協力条約機関(ACTO)、ベルmontフォーラム、及び地球規模生物多様性情報機構(GBIF)に対し、その洞察、協力及び成果物への貢献に感謝する。

我々は、2024 年の G20 RIWG におけるブラジルの議長国のリーダーシップを称賛し、感謝するとともに、2025 年の南アフリカ議長国の下での我々の次の会合に期待する。

(了)